

つなぐ



<設立状況(R2.8.1) 全41地区中>
 まちづくり協議会 29(31 地区)
 まちづくり協議会準備会 0(0 地区)

発行：松山市役所 まちづくり推進課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-1821

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/tikudayori.html>

Facebook : <https://www.facebook.com/machijoho>

Facebook まちづくり協議会情報局

Vol. 32



五明地区まちづくり協議会



五明の里 ふれ愛の館



オリジナル切手シート

「五明の里」活性化プロジェクト



五明小学校での陶芸体験学習



キッチンカーとご当地まかない料理

五明地区まちづくり協議会（五明まち協）は、令和元年7月から約9か月をかけて「五明の里」活性化プロジェクトに取り組みました。

地域の魅力発信拠点として活用している古民家『五明の里 ふれ愛の館』にイベントデッキやトイレを設置し、一層交流ができる場としました。ふれ愛の館では、ものづくりの里として、地区外からも多くの参加者が集まる陶芸の体験イベントなどを開催することができました。

また、地元PRのために五明地区の名所や史跡、周遊コースをまとめたガイドブックや、そこへ向かうための焼き物の道標、オリジナル切手シート（84円切手5枚。1シート420円）なども作成しました。

今後は、地域で開発したバターチキンカレーや、特製ソースのかかったソフトクリームなどをキッチンカーで移動販売する予定です。イベント出店などについては、平日9～12時、五明まち協へお問い合わせください。（☎08029771865）。

切手シートは、五明まち協（普沢町乙120番地2）で販売しています。五明郵便局では地域限定の消印がありますので、五明地区から大切な人へお手紙を出されてはいかがでしょうか。



まち協設立地区紹介コーナー



好評連載中！

新玉地区まちづくり協議会

面積：2.26km²
 人口：12,454人
 世帯数：6,890世帯
 ※R2.7.1現在

新玉地区は、松山の玄関口であるJR松山駅があり、交通の利便性が高い地区です。

日常生活に便利な店がそろっており、病院も充実しています。文化遺産や子どもの遊び場もあり、幅広い世代が暮らしやすい環境です。



地区の見どころ

◎大宝寺

大宝年間（701～703年）に創建されたと伝わる由緒あるお寺です。本堂は県内最古の木造建築であり、国宝に指定されています。春には敷地内のエドヒガン桜（通称「うば桜」）が、美しい乳白色の花を咲かせます。

◎南江戸本村公園

新本村公園は令和元年にJR松山駅西側にできました。子どもが楽しむ遊具はもちろん、大人向けの健康器具もあり住民の憩いの場となっています。JR松山駅周辺は鉄道高架の開発による、さらなる活性化が期待されています。



【 大宝寺 】

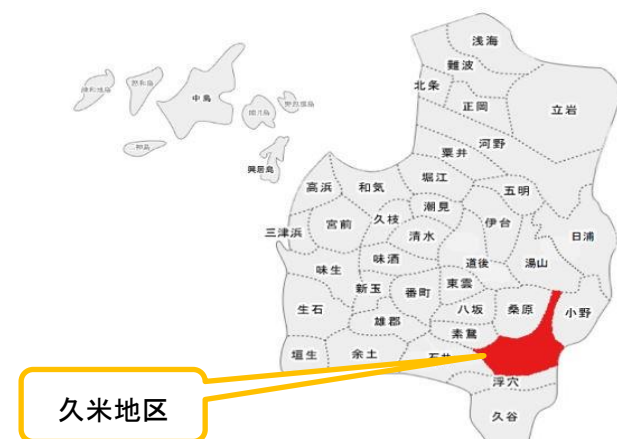


【 南江戸本村公園 】

久米ふれあいタウンづくり協議会

面積：9.83km²
 人口：29,844人
 世帯数：13,165世帯
 ※R2.7.1現在

久米地区は、古代から文化が開けた地区で寺社仏閣が多く存在し、貴重な文化遺産も多い地区です。山や川も近くにあり自然豊かなため、文化や歴史を体感したり、四季を通して自然と共生することを学んだりする活動が盛んに行われています。



地区の見どころ

◎ふれあい食堂

久米地区は、市内で15歳以下の人口が最も多い地区です。子どもや高齢者の孤食対策として「ふれあい食堂」を実施しています。地域と大学生や企業などが協力しながらまちを挙げて活動しています。

◎暮らしやすいまち

交通の利便性が高く、学校や病院、スーパー、温泉などの施設が充実しています。また、地域の各種団体の交流が盛んなため、地域全体の情報伝達がスムーズに行われており、様々な行事の開催などソフト面も充実しています。



【 ふれあい食堂 】



【 里山からの風景 】

活動内容の一例

◎青色パトロール隊（青パト）

平成30年9月から安全安心部を中心に活動しています。子どもたちの登下校を見守るため11名で毎週1回活動を行っています。放課後に子どもたちが安心して遊べるように6か所ある公園も巡回コースに入れ、公園内のゴミ拾い活動も実施しています。



◎災害に強いまちづくり

「防災福祉マップ」を作成し、全戸配布しました。また、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として「フェイスシールド」を作成しています。

住民が安全安心に暮らすことができるよう、災害に強いまちづくりを推進しています。



活動内容の一例

◎来住廃寺まつり

久米公民館と共催する「来住廃寺まつり」は久米地区の一大イベントです。当日は、毎年2,000人を超える参加者で大いに盛り上がります。地域の宝である来住廃寺跡は、国の史跡に指定されている歴史のある場所です。



◎里山の整備

子どもたちが自然体験や農業体験ができる場所を作るため、里山の整備に力を入れています。

久米、窪田小学校の児童が、卒業記念として手づくりした埴輪がシンボルです。毎年約100体ずつ登場し、現在約1,300体の埴輪があります。





素鷲地区まちづくり協議会 設立！



心ときめく素鷲をつくるため、
これから皆様と一緒に
歩んでいきたいと思ひます。



素鷲地区まちづくり協議会
会長 吉田 稔 さん

7月6日(月)に素鷲地区まちづくり協議会が設立されました。松山市では29番目の協議会設立となります。素鷲地区は市街地に近く、スーパーや公園、医療機関等が充実しており、様々な世代が暮らしやすい地区です。公民館、地区民協、社協等の多様な団体でネットワークをつくり、素鷲地区の魅力を向上させていきます。



人口 19,145 人
世帯数 11,089 世帯
※R2.7.1 時点

まちづくり推進課からお知らせ

職員が出席していない活動も、
当日の様子を教えてください
れば、紹介することができます！



Facebook まちづくり協議会情報局

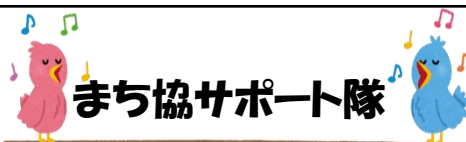
検索



まちづくり推進課では、各まちづくり協議会の活動をフェイスブック「松山市まちづくり協議会情報局」で発信しています。ぜひご覧ください。

また、まちづくり協議会が主催・共催する活動で、フェイスブックに取り上げてほしいというものがあれば、当日取材に伺いますので、まちづくり推進課までご連絡ください。

(☎089-948-6963)



まち協サポート隊とは、まちづくり協議会からの依頼に基づき、イベントの手伝いやSNSの作成管理などのサポートを行う有志の市職員ボランティアです。

まち協サポート隊はどんなことができるのか知りたい、人手が必要だ、というまちづくり協議会の方は、まちづくり推進課までご連絡ください。

(☎089-948-6963)

第30回 まちづくりで 輝く 人

地域で活躍している人を紹介します

今回の表紙を飾った五明の里活性化プロジェクトでも活躍されている大下美恵さんを紹介します。



五明地区まちづくり協議会
産業部
大下 美恵さん

経歴など

幼稚園教諭として子どもの成長を見守っています。新しいお店をめぐり、料理開発に役立っています。

【まち協でどのような活動に取り組まれていますか？】

五明地区まちづくり協議会の産業部の一員として、料理開発をさせていただいています。地元の野菜や果物をたっぷり使った料理を作り、キッチンカーで移動販売ができるように計画をしています。

【プロジェクトに携わって良かったことを教えてください。】

地元の仲間が増えたことです。その方々にアドバイスをいただき、協力してもらいながら、大好きな料理作りがたくさんできて良かったです。また、キッチンカーを選び、車中の設備を決めることまで自分たちででき、最後にはキッチンカーのお姉さんになれることが夢のようです。

【プロジェクトの中で、苦労したことを教えてください。】

初めは何をどうすればいいのかわからないまま始めたプロジェクトでした。カレーやナン、ぶどうソースは失敗の連続で、本当に私にできるかと不安でいっぱいでしたが、みんな協力して、五明ならではのメニューができました。

【今後の目標や抱負を教えてください。】

開発した料理「バターチキンカレー＆ナン」「ぶどうソースがけソフトクリーム」「しし肉うどん」等をキッチンカー『五星(ファイブスター)』に乗って、イベントに参加させていただき、ご当地グルメとして広げていきたいなと思っています。